

10月18日に、「ある生命のものがたり」「心のおくりびと東日本大震災」「生と死から考える」という教材を使って、性と生と死について勉強しました。その感想をのせます。感想から、子どもたちが何を学んだかが、わかると思います。

低学年は保護者の方と一緒に読みましょう。

- 1) 動画を見て、生と死のことをよく学びました。そして、自分の使命は探す、自分の未来は自分でつかみとる、自分の夢は走って追いかけると思いました。
- 2) 生命は長い年月をかけて生まれる貴重なものなので、大切にしようと思いました。
- 3) あらためて、人間の生まれ方を知ることができました。生きる和死ぬこととのつながりは不思議なもので、偶然だれかが死ぬとだれかが産まれるので、命は不思議だと思いました。死は悲しいけれど、それを受けとめて、死を活かしていこうと思いました。
- 4) 命は不思議なものだと思いました。命が始まったのは1億年以上も前(昔)で、今につながっていると思うと、気が遠くなる感じがして、とても、考えられる年じゃないなあと思いました。

昔のことだから、関係ないということじゃなくて、昔の人がいたから、今の私がいると思うと、関心が高いし、関係が逆に、深いんじゃないかなと思いました。

- 5) たった一人でも死ぬと弟や兄や姉、お母さん、お父さん、その死んだ人に一度でも会った人は悲しみ、特に、身近な人がとても悲しんだりして、人一人死ぬことで、何人、何十人、何百人の人を悲しませることがわかった。

- 6) 特に、東日本大震災にまきこまれた少女が、亡くなったお話がかわいそうだと思いました。
- 7) 私は、学校帰りに、考えたことは、自殺する人。その人はすごくもったいなくて失礼だと思いました。せつかくもらった命を無駄にするのはとてももったいないと思うし、生きたくても生きれなかった人に失礼だと思いました。
- 8) 生命の生まれ方はすごいと思ったし、今まで普通だったことが少し不思議に思ったし近づいたような感じがしました。赤ちゃんが生まれるまでというのは、だんだん形になっていてすごいと思います。
- 9) 生命はこうやって生まれてくるんだとわかってよかったです。病気や津波でなくなって、すごくかわいそうでした。

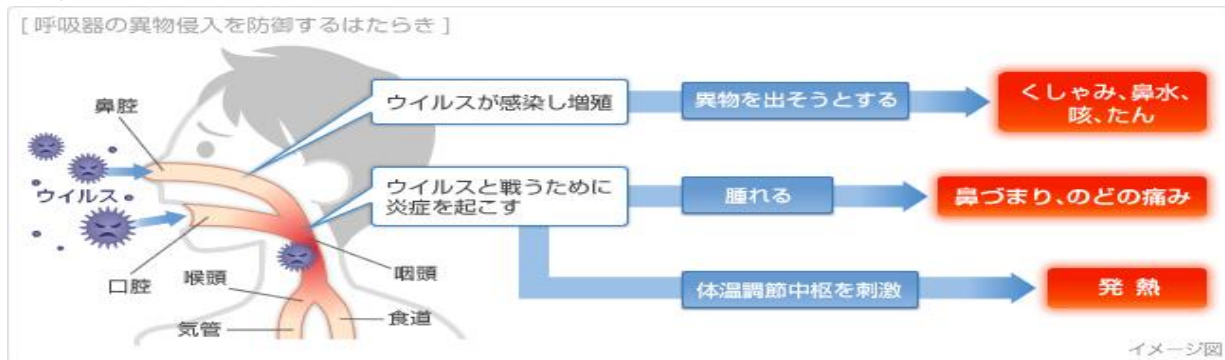
- 10) 動物もさみしいことがいっぱいあることがわかってよかったです。
- 11) ぼくたちが、生まれた時は、とっても小さいんだなあと思いました。
- 12) いろいろな命の大切さを知れてすごくよかったです。これからも自分の命を大切にしたいなあと思いました。
- 13) ぼくは犬にも命があり、その犬がなくなると、すごくつらい。人の命もなくなってもつらいから、命をもっと大切にあげたいです。
- 14) さまざまな話を見て、世界は不思議と偶然のような、ありえないような奇跡に満ちていて、すごいなと思いました。宇宙、命、想い、人間はいろんなことにつつまれているのかな。
- 15) 犬などが病気にかかる前にみつけてあげようと思いました。
- 16) これからも、震災やほかの災害があるので、気をつけます。
- 17) ぼくは、命についてよくわかりました。人間は生まれて、いつかは死ぬので、命についての大切さを教わりました。これからも命を大切にしていきたいです。
- 18) 性から始まった話はぜんぜん悲しくないけど、しになるとやっぱり悲しくなりました。

げんき！にこにこ！ まちのっこ その10

かぜひきさんがふえています。

かぜのふしぎをしてみてくださいか？

かぜの漢字は風邪とかきます。かぜは「風の邪気によっておこされる病気」ということから風邪と書くようになったと言われています。かぜとは、主にウイルスでうつります。鼻やのどが炎症をおこし、病気にかかった状態の事です。「せき」「のどの痛み」「鼻水」「鼻づまり」など症状や「発熱」「だるさ」「頭痛」など、全体の症状がでた状態のことです。



かぜを治すためには、「ねる」ということが一番と言われています。

予防では体を温めること、栄養をとること、そして水分をとることが大事だといわれています。発熱によって、発汗が増える事からも水分を十分にとる必要があります。そして、のどを乾燥させないということも大切だといわれています。

